おもしろ算数 (114)(小3年生)

(このページは、直接入力できません。 そのまま見るか、印刷してもらって使ってね!!)

小学校3年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数 (114) は、「口をもとめる」問題です。



【問題】

口にあてはまる数をもとめましょう。

- ① $\square \times 3 = 12$
- ② 5+□=8
- ③ 8×□=40
- $\bigcirc -6 = 5$
- ⑤ $□ \div 9 = 4$

【自分の考え】

- ①について、□×3=12
 - $\square = 12 \div 3$
 - □=4
- ②について、5+□=8
 - □=8-5
 - $\square = 3$
- ③について、8×□=40
 - $\Box = 40 \div 8$
 - □=5
- ④について、□-6=5
 - $\Box = 5 + 6$
 - $\Box = 1.1$
- ⑤について、□÷9=4
 - $\Box = 4 \times 9$
 - **□**=36

※口を求める式をよく見てください。はじめの式と、計算の式を比べると「発見」があります。

はじめの式 計算の式

「たし算」 ➡ 「ひき算」

「ひき算」 ➡ 「たし算」

「かけ算」 ⇒ 「わり算」

「わり算」 ➡ 「かけ算」

どうですか。すごい発見だと思いませんか。

さて、口を求める式では、このように、「はじめの式」と「計算の式」が なぜ ぎゃくの計算に なっているのか、わけを考えてみて下さいね。